



唐津農林事務所 管内の概要

唐津農林事務所 / 東松浦農業振興センター

〒847-0861 佐賀県唐津市二太子3-1-5

TEL 0955-73-1661

FAX 0955-75-0578

Mail karatsunourin@pref.saga.lg.jp

管内の概況…………… 1

- 位置
- 自然条件
- 管内農林業の主要数値
- 唐津農林事務所管内概要図

農業の振興…………… 3

- 耕地面積
- 農作物別農業産出額
- 主要農畜産物の生産状況
- さが園芸888運動の取組状況
- 野菜・花きの振興
- 果樹の振興
- 畜産の振興
- 水稻の振興
- 中山間地域の活性化
- 鳥獣害対策の推進

農業生産基盤整備の推進…………… 8

- 地域が目指す農業に応じた生産基盤の整備
 - └農地や農業用施設の整備
- 施設の適正な管理
 - └農業水利施設の維持管理
 - └土地改良区による維持管理
- 県土の保全や各種防災対策
 - └ため池の整備や廃止等
 - └農地の地すべり防止

- 農村の生活環境基盤の整備
 - └農業集落排水施設の維持管理
 - └農業農村が有する多面的機能の維持・発揮
- 農業・農村に関する理解醸成活動の推進等
 - └子どもの農業に対する意識醸成
 - └棚田保全活動の支援
- 上場地域農業構想

水産基盤整備の推進…………… 12

- 水産業の就労環境の改善
 - └県内唯一の防災拠点漁港の整備
 - └漁業者の安全確保、漁業活動の軽労化
 - └既存施設の長寿命化により、ライフサイクルコストを軽減
- 海岸保全区域の維持保全

林業の振興及び森林の保全・整備…………… 13

- 環境を育む森林づくり
 - └管内森林の現状
 - └森川海人っプロジェクト
 - └水資源を守る森林整備
 - 多様な森林整備の推進～荒廃森林の再生～
- 森林資源の持続的利用
 - └木材の生産拡大の推進
 - 健全な森林整備と林業の振興
 - 収穫期を迎えた森林の主伐
 - 再造林の推進
 - └木県産木材の安定供給と需要拡大
 - ふる郷の木づかいプロジェクト
- 森林整備の推進と木材生産性の向上 ～林内路網の整備～
- 防災につながる森林整備の推進 ～くらしを守る治山事業～
 - └山地の安定と森林の維持増進

組織体制…………… 16

管内の概況

1 位置

当管内は、佐賀県の北西部に位置し、北は玄界灘、南は天山山系に囲まれた地域で、唐津市と東松浦郡玄海町の一市一町から構成されています。総面積は523.52km²で県土の約21%であり、管内人口は約11万9千人(R6年現在)で県総人口の約15%を占めています。

2 自然条件

標高600mの中山間や山麓地域、松浦川流域の平坦地、及び東松浦半島一帯の上場台地で構成され、地形の変化に富んだ地域です。施設園芸と畜産が盛んであり、また、虹の松原、鏡山、呼子のイカ、唐津焼などの観光資源に恵まれ、風光明媚な地域です。

●管内農林業の主要数値

※1 経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家
 ※2 経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家

区分		管内	佐賀県	県内シェア	出典	
総面積	(km ²)	523.50	2,440.64	21%	①	
人口	(人)	119,075	791,450	15%	②	
農業	耕地面積	(ha)	7,426	50,200	15%	③
		水田 (ha)	4,514	41,700	11%	③
		畑 (ha)	2,912	8,470	34%	③
	農家数	(戸)	3,893	18,645	21%	④
		販売農家 ※1 (戸)	2,932	13,293	22%	④
		自給的農家 ※2 (戸)	961	5,352	18%	④
	基幹的農業従事者数	(人)	4,845	19,015	25%	④
	農地集積率	(%)	55.4	70.9	-	⑤
農業産出額	(億円)	291	1,305	22%	⑥	
林業	林野面積	(ha)	26,518	110,610	24%	④
	林家数	(戸)	2,324	9,107	26%	④
漁業	漁港数 (内、県営漁港)	(港)	26(4)	45(5)	58%(80%)	⑦



鏡山から唐津湾を望む

出典 ▶▶ ①国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(R6.10.1現在) ②総務省「住民基本台帳人口」(R6.10.1現在) ③農林水産省「作物統計調査」(R4調査)
 ④農林水産省「2020農林業センサス」(R2現在) ⑤佐賀県農業経営課「佐賀県における農業経営基盤の現状」(R6.3月末現在)
 ⑥農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」(R4調査) ⑦水産庁HP (R6.4.1現在)

農業の振興

当管内は、ハウスみかんやいちご、こねぎ等の施設園芸に加え、露地みかんやたまねぎ等の露地園芸が盛んに行われており、県内でも有数の園芸産地となっています。また、中山間地域等を中心に、高品質なブランド米や肉用牛の生産・飼養が活発に行われています。

耕地面積 ※再掲

	管内(ha)	県内(ha)	県内シェア率
耕地面積	7,426	50,200	15%
田面積	4,514	41,700	11%
畑面積	2,912	8,470	34%

【出典】
農林水産省「令和4年産作物統計調査」

農作物別農業産出額

	管内(億円)	県全体(億円)	県内シェア率
米	23	229	10%
麦	0.2	27	1%
野菜	81	415	20%
果樹	36	183	20%
花き	11	40	28%
畜産	127	363	35%
その他	12	36	33%
合計	291	1,307	22%

【出典】
農林水産省「生産農業所得統計（R4年）」
農林水産省「市町村別農業算出額（R4年）」

主要農畜産物の生産状況

※1 結果樹面積

※2 切花類、鉢物類及び花壇用苗物類の計

品目	作付面積			生産量または出荷量		
	管内(ha)	県全体(ha)	県内シェア率	管内(t)	県全体(t,千本・鉢)	県内シェア率
ハウスみかん	93	※1 111	84%	4,125	6,180	67%
露地みかん	91	※1 1,659	5%	1,180	32,720	4%
中晩柑	98	324	30%	1,788	-	-
いちご	50	157	32%	2,525	6,720	38%
ねぎ(こねぎ)	86	250	34%	959	2,430	39%
きゅうり	33	153	22%	3,040	15,300	20%
たまねぎ	245	2,010	12%	8,710	84,000	10%
アスパラガス	10	116	9%	185	2,270	8%
トマト	5	64	8%	339	3,240	10%
花き	12	※2 135	9%	-	※2 46,280	-

【出典】 県全体：農林水産省「作物統計（R4年）」
中晩柑（作付面積）：JAさが調べ（R4年度）
管内：ねぎ（こねぎ）、きゅうり、たまねぎ：農林水産省「市町村別野菜生産出荷統計（R4年）」
※複数作型がある品目はその合計値
ハウスみかん、露地みかん、中晩柑：JAからつ・鏡果協R4年生産販売実績等
いちご・トマト：JAからつR4年生産販売実績等
アスパラガス：JAさが・JAからつ調べ（R4年産）
花き：市町調査（県園芸農産課調べ、R4年産）

	農場数			飼養頭数		
	管内	県全体	県内シェア率	管内(頭)	県全体(頭)	県内シェア率
肉用牛	246	698	35%	23,873	54,099	44%
乳用牛	13	35	37%	597	2,002	30%

【出典】「家畜保健衛生所調査」（R5年2月現在）※一貫の戸数はそれぞれで計上



さが園芸888運動の取組状況

佐賀県では農業の持続的な発展を図るため、生産者をはじめ、県、市町やJAが一体となり、令和10年の園芸農業産出額888億円を目標として、『さが園芸888運動』に取り組んでいます。

唐津・東松浦地区においては、施設園芸団地の整備や露地野菜の生産拡大等、様々な施策を推進しており、園芸団地の構想策定等、東松浦農業振興センター（生産拡大）と唐津農林事務所（基盤整備担当）が一体となって取り組んでいます。



唐津市園芸団地構想(半田・宇木・平原地区 等)

いちご・アスパラガス・きゅうり・中晩柑のトレーニングハウスを中心として、園芸団地の整備を推進します。また、トレーナーのもとで研修を行う「唐津版アグ・トレ」を設置し、新たな担い手の確保・育成を図ります。



研修（唐津版アグ・トレ）の様子



JAからついちごトレーニングハウス
(唐津市半田)



JAからつ
アスパラトレーニングハウス
(唐津市浜玉町平原)



研修（唐津版アグ・トレ）の様子

基盤整備(半田地区、野田地区、三宅地区 等)

地域農業が必要とする区画整理や暗渠排水、用排水路等の生産基盤を整備し、農業経営の安定を図ります。



基盤整備による施設園芸への転換



玄海町園芸団地構想(長田代地区)

基盤整備と施設整備により「いちご団地」を整備します。



「野菜・花き」の振興

施設栽培



施設野菜・花きでは、ハウス環境モニタリング機器を活用した「見える化」による更なる高収益化に向けた取組を行っています。

また、より実践的な研修が可能なミニトレーニングファームの整備を始めとした研修生受入れ体制の拡充、規模拡大希望者や研修後の新規就農者の受け皿となる園芸団地の整備に取り組んでいます。



環境モニタリング機器の設置による見える化



きゅうり栽培やってみようセミナー



唐津版アグ・トレによる圃場研修



令和5年度に新たに整備されたJAからついちごトレーニングハウス

露地栽培



露地野菜・花きでは、上場地域の良質な畑作土壌を生かして、タマネギやカンショなどの栽培が盛んに行われています。作付面積の拡大に向けて、地域の実情に合った省力化機械の導入や集荷体系の検討を行っています。

また、露地栽培が可能で夏場の休耕期に収穫できるホオズキやシンテツポウユリの推進もしています。



タマネギの茎葉処理・掘り取り機の実演



加工用カンショのフレコン収穫作業の様子



根深ネギの定植作業の省力化



ホオズキ出荷の様子

「果樹」の振興



高収益な施設カンキツ栽培について、ハウスミカンや県育成新品種「にじゅうまる」の収量向上に向けた栽培支援に取り組んでいます。加えて、果樹の新規就農者の研修受入れ体制の充実を図っています。

露地カンキツでは、高品質かつ省力化につながる栽培方法としてS.マルチ栽培の推進を行っています。



「にじゅうまる」栽培研修



新規就農相談会の様子



ハウスミカンが実っている様子



S.マルチ栽培研修

「畜産」の振興



唐津・東松浦地域は肉用繁殖牛・肥育牛の飼養頭数がともに県内の4割以上を占めており、県内最大の産地です。

将来にわたって産地を維持し、「佐賀牛」ブランドを更に拡大させていくために、関係機関一体となって飼養管理向上に向けた研修会や経営安定化に向けた経営診断等を行っています。

また、地域内のトレーニングファーム（JAからつ佐賀牛いろはファーム）を活用した将来の産地を担う新規就農者の確保・育成にも力を入れています。



飼養管理改善に向けた牛舎互評会の実施



肥育牛の発育調査



JAからつ佐賀牛いろはファーム
(唐津市肥前町)



繁殖経営の就農啓発セミナー
(佐賀牛就農セミナーinいろは)の様子

「水稻」の振興

「逢地さがびより」や「天川コシヒカリ」などの地域ブランド米が作られ、良質・良食味米として高い評価を得ています。地域ブランド米としての商品価値を維持しながら、省力低コスト化と安定生産のための栽培研修を行っています。



逢地さがびより栽培研修会



美味しいお米を作るために勉強しています！

天川コシヒカリ栽培研修会

「中山間地域」の活性化

中山間地の水田や畑を有効活用して、根深ネギやカンショ、ホオズキ等の露地野菜・花きや黒大豆の作付けを促進し、中山間地域の農業の活性化を図っています。作付けの促進にあたっては省力化機械の実演会も開催しています。



石室集落根深ネギ機械定植実演会



黒大豆「佐賀黒7号」中耕培土機実演会

「鳥獣害対策」の推進

イノシシによる農作物被害が深刻化している現状を受け、集落での鳥獣害防止対策マップの作成や、捕獲技術向上のための箱わな等の研修を実施しています。あわせて、ワイヤーメッシュ柵の維持点検や農地周辺の潜み場の除去など基本的な対策を推進しています。

皆で現状と対策を話し合います！



八床地区鳥獣害マップ作り



鳥獣箱わな研修

農業生産基盤整備の推進

「磨き、稼ぎ、つながる農業の確立」に向けた農業生産基盤整備と「活力ある農村の実現」に向けた安全・安心な農村づくりを進めています。



地域が目指す農業に応じた生産基盤の整備

・農地や農業用施設の整備

担い手への農地集積や集約化、畑作物の作付け等を推進する地域において、区画整理や農地の汎用化のための暗渠排水、用排水路等の整備を実施します。



暗渠排水の施工状況

暗渠排水の整備

半田地区（経営体育成基盤整備事業）



維持管理が
しやすくなった！

排水路の整備



水はけが悪く
ほとんど表作のみ・・・

区画整理



たまねぎの作付けを
始めました！

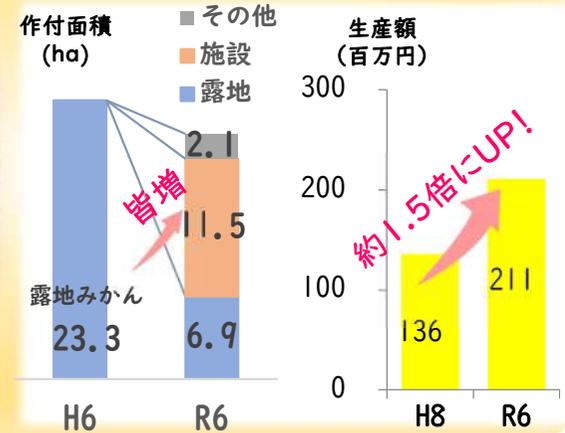
黒岩地区（基盤整備促進事業）

○ひれふり地区(畑地帯総合整備事業) 中山間地域における施設園芸団地の整備 <工期:H10~H15>

トピックス①



区画整理:23ha
耕作者数:51名
(内、担い手:25名)

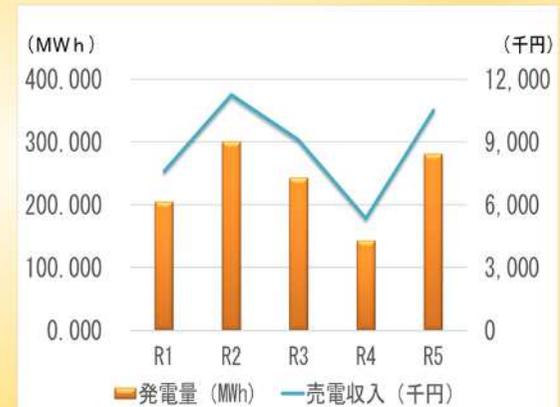


○藤ノ平ダム(小水力発電施設) 農業用ダムの水を生かした発電 <平成29年4月発電開始>

トピックス②



年間の発電量と売電収入 <一般家庭発電量の約60倍>



施設の適切な管理

・農業水利施設の維持管理

農業水利施設の長寿命化等を図るため、機能保全計画に基づく対策工事を実施します。



整備前

浜玉 2 期地区 (唐津市浜玉町)

整備後

・土地改良区による維持管理

唐津管内には、現在三つの土地改良区があり、小規模な土地改良事業の実施や土地改良施設の維持、管理、運営などを行っています。



草刈り作業

施設点検

県土の保全や各種防災対策

・ため池の整備や廃止等

防災重点農業用ため池等について、決壊などによる災害を未然に防止するため、老朽化したため池の改修、廃止等を行っています。



さらに、ハード事業と併せて、ため池のハザードマップ作成や劣化状況評価、管理・監視体制の強化等のソフト対策を実施しています。

・農地の地すべり防止

地すべりが発生している地域やその危険が予測される地域については、被害の未然防止対策を実施し、県土の保全を図ります。



道路にもキレツが。。。

地すべりの影響

大杉地区 (水抜工)

農村の生活環境基盤の整備

・農業集落排水施設の維持管理

農村地域における生活排水やし尿を処理する施設の機能強化、更新を実施し、農業用水の水質保全と併せて農村生活環境の改善を図ります。



農業集落排水処理場
相賀地区（唐津市）



脱臭ブロアの更新
相賀地区（唐津市）

・農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮

多面的機能支払交付金を活用し、草刈りや水路の泥上げなどの地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。



草刈り作業



水路の泥上げ

○呼子大橋（農道橋） 唐津市呼子町と加部島をつなぐ （平成元年4月開通）

トピックス③



橋内部には農業用水管も併設

開通による時間変化



農業・農村に関する理解醸成活動の推進等

・子供の農業に対する意識醸成

農業農村への理解やふるさとへの愛着を深める学習活動を支援します。



・棚田保全活動の支援

地域住民活動による棚田の保全・継承に向けた取組に対して支援します。



上場地域農業構想 (策定主体：唐津市、玄海町)

- ・上場地域農業の発展に向けた「上場地域の将来像（目指す姿）」を描き、その実現のための戦略をまとめた構想
- ・市町・J A・土地改良区・県が連携し、構想実現に向けた取組を実践



上場地域とは 唐津市の一部（旧唐津市の一部、旧北波多村の一部、肥前町、鎮西町、呼子町）及び玄海町の区域であり、県内でも有数の畑作地帯

上場地域の歴史 公共事業と営農振興により農業の効率化アップ！
収量アップ！

台地状で水源に乏しい。

農業生産額が伸び悩み。。

原因

- ・農家の減少や高齢化
- ・施設の老朽化
- ・施設の維持管理負担の増加 など

構想推進

現状を打破するため
上場地域農業構想を策定

農業スタイル①

佐賀牛・フルーツなどプレミアムな「UWABA産農畜産物」が世界市場で人気定着

世界に誇れる「UWABA産〇〇」！



SAGA UWABA
佐賀上場ファームうまかもん半島
-世界とつながり、エコで健康な農業であ〜る-

農業スタイル②

未来志向のサステナブルな農業を担う「新しい企業の農業経営体」が多数進出

企業が上場地域農業に進出！



農業スタイル③

観光や飲食、加工等×農業がwin-winとなる多様な地域産業が活性化

農業から地域を一緒に盛り上げよう！



農業スタイル④

上場地域の農地を適正に保全する持続可能な省力化農業

上場地域の農地を守ろう！



水産基盤整備の推進

管内の漁港は、玄海灘を漁場とする玄海地区に位置しています。現在は大規模な漁港整備は完了し、漁業活動における環境整備としての浮棧橋の整備や老朽化した岸壁等の補強・維持管理等を行っています。

水産業の就労環境の改善

県が管理する四つの漁港（名護屋、呼子、唐房、高串）において、漁業活動の環境整備を実施しています。



唐房漁港

漁獲量 t

漁港名	魚類	えび類	かに類	貝類	いか類	海藻類	その他	計
名護屋	1228	0	0	0.4	73	0	2	1303
呼子	94	0	0	0	257	0	0	351
高串	67	1	0.2	6	40	0	1	115
唐房	44	2	0.1	47	5	19	4	121

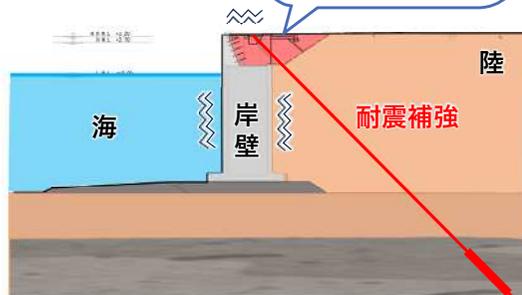
【出典】R5 漁勢調査

・県内唯一の防災拠点漁港の整備

防災基地となっている漁港の岸壁を耐震化しています。



耐震化された岸壁



大きな地震にも耐えられるように！

名護屋漁港（唐津市鎮西町）

・漁業者の安全確保、漁業活動の軽労化

作業がしやすくなります！



干潮時は高低差があり積卸しが大変。。。



※整備後のイメージ

唐房漁港

・既存施設の長寿命化により、ライフサイクルコストを軽減



海面下の鋼管や鋼矢板が老朽化。。。



海中工事もあります！

防食工

海岸保全区域の維持保全

災害の未然防止を図るため、海岸保全施設の維持管理を行っています。

- 海岸保全施設の
- ・巡視・草刈り等
 - ・樋管管理
 - ・修繕・補修工事



樋管の点検

○管理する施設

- 農林水産省水産庁所管の海岸保全区域（漁港海岸2地区）
- 農林水産省農村振興局所管の海岸保全区域（農地海岸7地区）

林業の振興及び森林の保全・整備

持続可能な森林・林業の確立を目指します。



環境を育む森林づくり

森林が持つ水源かん養機能や県民の生活を守る防災機能などの多面的機能を十分に発揮する多様な森林づくりを推進しています。

・森林の現状と「さかの森林再生プロジェクト」の取組

管内には収穫期を迎えるスギ・ヒノキの人工林が8割あり、これらの森林は、伐（き）って（収穫）、使って、植えて、育てて、また伐（き）るという好循環を創出し、持続していく必要があります。

「さかの森林再生プロジェクト」は小規模な森林を集約化してコスト削減を実現し、森林所有者へ収益還元できる体制づくりを進めます。



・森川海人っプロジェクト

佐賀の森・川・海の豊かな自然環境を未来へつなげる「森川海人っプロジェクト」の取り組みの一環として森川海人っ教室を開催しています。



水資源を守る森林整備

・多様な森林整備の推進 ～ 荒廃森林の再生～

「森林環境税」を財源に手入れが遅れたスギ・ヒノキの人工林において間伐等を行い、下層植生の回復や針葉樹と広葉樹が混じり合った森林づくりを進めています。



地表に植生が回復した森林へ再生

植生が回復すると、林地の保水機能が高まったり、雨水がゆっくりと下流へ流れるようになって、災害発生の軽減につながるんだよ！



「森川海人っプロジェクト」キャプテン
森川海人くん

森林面積表（地域森林計画対象森林：森林法第5条） ha（戸）

市町名	森林面積		人工林			すぎ	ひのき
			人口林率	36年生以上	36年生以上率		
唐津市	23,087	15,184	66%	12,721	84%	10,545	4,077
玄海町	983	343	35%	331	97%	269	68
小計	24,070	15,527	65%	13,052	84%	10,814	4,145
県計	94,309	63,368	67%	56,007	88%	37,730	23,548

市町名	天然林	竹林	無立木地	林家数
唐津市	5,878	778	1,247	2,161
玄海町	461	72	106	163
小計	6,339	850	1,353	2,324
県計	22,482	2,937	5,521	9,107

【出典】
佐賀県森林整備課
「佐賀県森林・林業統計要覧」
(R5.3.31現在)

森林資源の持続的利用

「伐（き）る→使う→植える→育てる→伐る」という好循環を創出し持続可能な森林・林業を確立するため適切な森林整備や木材の利用拡大の取組を推進します。



木材の生産拡大の推進

～健全な森林整備と林業の振興～

搬出間伐や主伐を促進するために、間伐等の森林施業の集約化や木材の搬出に必要な森林作業道の整備を行い、高性能林業機械を活用した低コスト木材生産体制づくりに取り組んでいます。



～森林を守り育てる担い手の確保～

高校生を対象に林業体験学習を開催し、林業担い手の確保に取り組んでいます。



巖木高校 体験学習
(管内森林組合現場)



管内の森林組合で活躍する
「さが林業アカデミー」修了生

～収穫期を迎えた森林の更新～

資源の循環利用を進めるため、主伐及び再造林（植林）を推進するとともに、新しいスギ品種「サガンスギ」の生産拡大と植林に力を入れています。

◎県が開発した「サガンスギ」の特徴

- ①成長が早い
- ②強度が高い
- ③花粉が少ない



植林作業



「サガンスギ」の苗木



「サガンスギ」の植林

県産木材の安定供給と需要拡大 ～ふる郷の木づくりプロジェクト～

公共施設や家具、内装への活用など多様な県産木材利用を進めています。



鏡山小学校 屋外倉庫（木造）

特用林産物の生産振興

森林資源の循環利用を推進するため特用林産物の生産振興に取り組んでいます。



しいたけ原木 ほだ場(相知町)



佐賀県原木しいたけ
イメージキャラクター

森林整備の推進と 木材生産性の向上 ~林内路網の整備~

林道等の路網は、地域の森林を整備・管理し、木材を搬出する林業活動を実施するための基盤となります。林道を計画的かつ適正に配置することにより、効率的な木材生産と森林整備につながります。



あせび線
(唐津市厳木町) ※工事実施中



三方線
(唐津市相知町)



土場まで木材を運搬集積



土場からトラックに積み込み
市場まで運搬します

防災につながる森林整備の推進 ~くらしを守る治山事業~

山地の安定と森林の維持増進

治山事業は、山崩れ・地すべり・土石流などの山地に起因する災害から森林の維持造成を通じて、県民の生命・財産を守ることや、森林の持つ水源のかん養機能の向上、生活環境の保全形成などを目的に実施する事業で、安全で安心な豊かな暮らしの実現のために、必要不可欠な事業です。

山地災害の未然防止と災害が発生した場合の早期復旧を図るため、荒廃地に治山ダム等の溪間工事や土留工・植栽等の山腹工事を行っています。



令和3年8月14日の集中豪雨により被災
(唐津市 湊町 清水地区)



災害関連緊急治山事業により
山腹工事完了
(唐津市湊町)

組織体制

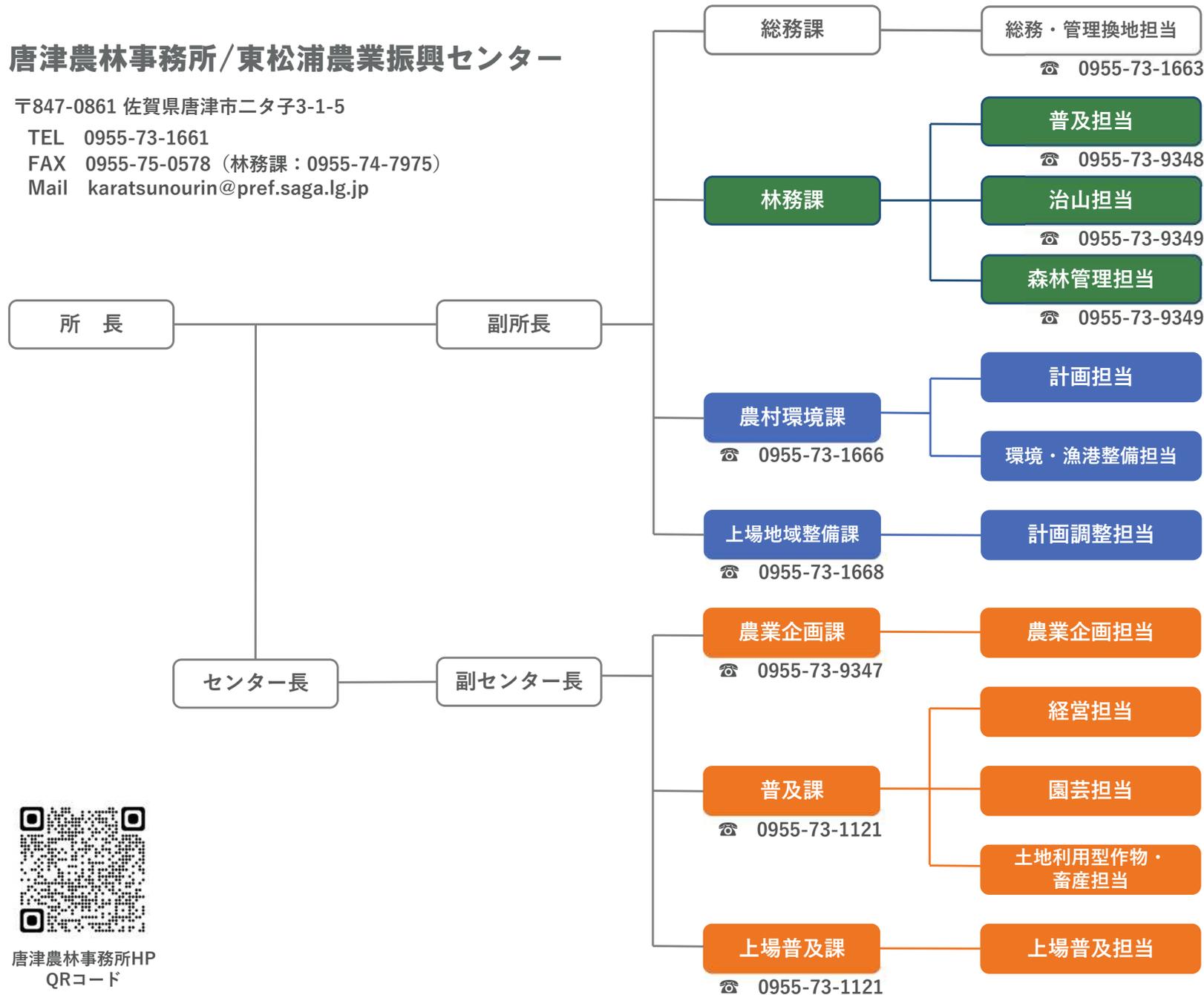
唐津農林事務所/東松浦農業振興センター

〒847-0861 佐賀県唐津市二太子3-1-5

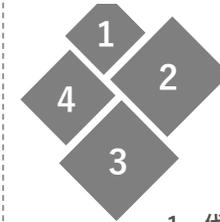
TEL 0955-73-1661

FAX 0955-75-0578 (林務課: 0955-74-7975)

Mail karatsunourin@pref.saga.lg.jp



表紙写真



- 1 伐採状況 (まつら森林組合)
- 2 浜野浦の棚田 (玄海町)
- 3 呼子大橋 (唐津市呼子町)
- 4 みかん園地 (唐津市浜玉町)



全国から1,000名を超える農業の担い手が集うイベントで、佐賀県で初開催！



唐津農林事務所HP
QRコード